



平成 17 年 7 月期 第 3 四半期財務・業績概要（個別）

平成 17 年 5 月 31 日

上場会社名 日本駐車場開発株式会社 (コード番号: 2353 東証第一部・JASDAQ)
 (URL <http://www.nittyu.co.jp>)
 代表者 役職名 代表取締役社長 巽 一久
 問い合わせ先責任者 役職名 取締役副社長 氏家 太郎 TEL (06) 6227 - 6777
 決算取締役会開催日 平成 17 年 5 月 31 日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 17 年 7 月期第 3 四半期の概況（平成 17 年 2 月 1 日～平成 17 年 4 月 30 日）

(1) 経営成績(個別)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 7 月期 第 3 四半期	1,033	49.1	153	21.1	190	51.9	112	-
16 年 7 月期 第 3 四半期	693	34.7	126	24.1	125	18.6	-	-
(参考) 16 年 7 月期	2,705		516		522		286	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 7 月期 第 3 四半期	33	52	32	55
16 年 7 月期 第 3 四半期				
(参考) 16 年 7 月期	1,596	79	1,552	12

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。売上高、営業利益、経常利益以外の項目に関しては当第 1 四半期より開示を行っているため、前年第 3 四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載していません。

[経営成績(個別)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国の経済は企業収益の改善、設備投資の拡大など景気の回復基調は続いておりますが、原油価格の高騰や中国における反日運動の激化など懸念材料も存在し、先行きについては楽観できない状態にあります。一方で駐車場市場におきましては、平成 17 年 4 月 1 日以後開始する事業年度から減損会計が強制適用されることを受けて不動産の流動化が更に進み、ビル所有企業、金融機関、JREIT(不動産投資信託)などのビル附置駐車場に対する収益改善意識や駐車場ユーザーの経費削減意識は衰えることなく高レベルで推移し、当社グループはそれに応えるべく積極的な営業活動を展開するとともに、サービスレベルの維持・向上に努めてまいりました。

4 月に支社を開設した広島地区においてアミューズメント施設附置駐車場での運営を開始するなど新たな地域への進出を果たしました。また、当四半期より当社グループ内での業務分担を変更したことにより、売上高は 1,033,316 千円(前年同期比 49.1%増)となりました。販売管理費の削減が奏功し、営業利益は 153,231 千円(前年同期比 21.1%増)となりました。また、私募ファンドからの分配金などを計上した結果、経常利益は 190,949 千円(前年同期比 51.9%増)となり、第 3 四半期純利益は 112,276 千円(前年同期は未開示)となりました。

(2) 当該四半期において財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当第 3 四半期における財政状況は安定的に推移しており、経営成績に重要な影響を与える事象は特にありません。